



蒼空

活動報告

2025年1月～12月



特定非営利活動法人 日本ウイグル協会

Japan Uyghur Association

日本ウイグル協会会報

蒼 空

第30号

目次

会長挨拶／日本ウイグル協会とは／在日ウイグル人の苦境……	1
ウイグル人と東トルキスタン……	2
活動報告……	3
活動一覧……	22
編集後記……	24
入会案内／ご寄付のお願い……	25

2026年1月 発行

会長挨拶

皆様、2025年中も私たちを応援して頂き誠にありがとうございました。

2025年は、日本国内外の市民団体、メディア、政界との連携を強化し、活発な活動を展開できた1年となりました。特に、国会で開催したウイグル強制労働問題に関する調査報告書の発表会、学者を招いて国会で開催した有名無実の「新疆ウイグル自治区」成立70年をテーマとしたシンポジウム、学者を招いて開催した越境迫害の実態をテーマとしたシンポジウムなどを通じて、専門家の皆様のご協力も得ながら、様々な側面から進行中のウイグルジェノサイドの実態を効果的に発信できたことは私たちに希望をもたらす貴重な成果だと認識しております。

それから、日本全国を回っての街頭活動（証言集会、パネル展、上映会などを含む）について、遂に47都道府県の全てで開催する目標を達成することができました。

また、日本ウイグル協会の定款変更、業務システムの導入、専属スタッフの増員など内部改革を進め、組織力を強化できたのも重要な成果だと認識しております。

来年は更に活発で効果的な活動ができるよう頑張って参りますので、応援くださいますようお願い申し上げます。

日本ウイグル協会

会長 レテプ アフメット

日本ウイグル協会とは

日本ウイグル協会は、在日ウイグル人によって2008年6月に設立された、日本に暮らすウイグル人コミュニティで作る最大のNPO 法人である。

この法人は、東トルキスタン（現在中国の植民地支配下にある、いわゆる新疆ウイグル自治区）及びウイグルの歴史・文化、現在直面する重大な人道上の危機を日本国民と日本国政府に正しく紹介し、相互理解と相互協力を促進するために、社会、人権等の分野で様々な活動を行う。其れと共に、東トルキスタン国民の国際法及び国際慣習法並びに国連決議等で認められた諸権利を擁護し、自由で民主的な東トルキスタン国家の樹立の為の調査・研究や政策提言、その実現の為の活動を行うことによって世界平和に貢献することを目的とする。

在日ウイグル人の苦境

日本には2～3,000人のウイグル人が暮らし、そのほとんどが2017年以降、故郷の家族と連絡を取ることすらできず、絶望的な状況で苦しんでいる。故郷の家族を人質に、中国の警察がスパイ行為の強制や脅迫電話を日常的に仕掛けてきて、4,000キロ以上離れた安全なはずの日本においても、常に国境を越えた精神的拷問に晒されている。

地元に戻れば、収容所行きの運命が待ち受けている。日本留学中の20代女性が、収容所に送られた家族の身を案じ、探すために帰国したところ自身も収容され、拘束中に死亡したことも確認されている。

ウイグル人と東トルキスタン

ウイグル人とは

ウイグル人は、中国人と全く異なる歴史や価値観、独自の言語や文化を持つチュルク系民族で、古代シルクロード文明の形成に重要な役割を果たしたことで知られ、常に親日的な民族でもある。

ウイグル人は、歴史上多くの独立国家を運営してきたが、ソ連の軍事介入や「ヤルタ密約」を経て、1949年、東トルキスタン共和国は中国共産党政権に占領され、植民地支配が現在まで続いている。1955年以降は「新疆ウイグル自治区」と位置付けられた。「新疆」とは「新しい占領地」という意味を持つ。

東トルキスタンとは

東トルキstanは、古代シルクロード上に位置しており、地理的にはユーラシア大陸の心臓部にあたる。東側で中国やモンゴル、北側でロシア、西側でカザフスタン、キルギスタン、タジキスタン、アフガニスタン、パキスタン、インド、南側でチベットと国境を接している。総面積は今の中国全土の約6分の1を占め、トルコ共和国の約2倍、日本の約4.5倍に相当する。地理的には中国の本来の辺境である万里の長城の外側に位置する。歴史や文化の

面から見ても、東トルキスタンとは中央アジアの一部であり、決して中国の一部ではない。北京と2時間の時差がある。

中国による支配

中国は、東トルキスタンの広大な土地と豊富な地下資源を永久的に占領するために大規模な漢人の入植とウイグル人に対する同化政策を採ってきた。しかし、自然同化への企みが失敗に終わったため、習近平政権になってからはウイグルの独自文化や伝統等アイデンティティを強制的に破壊し、民族そのものを滅ぼす意図を持った露骨な政策に転じている。

中国にとって東トルキstanは、核実験施設や最先端の監視システム等軍事技術の実験場であり、中国の覇権戦略の一つ「一带一路」の要衝でもある。分かっているだけで、中国は東トルキstanで延べ46回、総爆発出力およそ20メガトン（1945年に広島に投下された原子爆弾の1,000倍に相当する爆発出力）の核爆発実験を行っている。

中国がウイグル人たちを滅ぼすのを世界が放置すれば、そのモデルは輸出され、周辺地域や全世界にとっても大きな脅威となるのは間違いない。



日本ウイグル国会議員連盟総会に参加

1月

2025年1月21日、日本ウイグル国会議員連盟の総会が、衆議院第一議員会館の国際会議室において開催され、日本ウイグル協会もこれに参加した。

総会には、来日中の世界ウイグル会議のルシャン・アッバス執行委員長も招かれ講演し、ウイグル人権問題の解決へ向けた日本の協力を訴えた。

また、天安門事件時の学生指導者の一人で、現在は台湾を拠点に活動するウイグル人活動家ウルカイシ氏も挨拶し、問題解決のための政治指導力の重要性を強調した。

この機会を下さった日本ウイグル議連の古屋圭司会長と石橋林太郎事務局長に、改めて感謝申し上げたい。



11月

11月11日、日本ウイグル国会議員連盟総会が衆議院第一議員会館で開催され、これに参加した。今回は、世界ウイグル会のトゥルグンジャン・アラウドゥン総裁とドルクン・イサ前総裁の来日にあわせて開催されたもので、多くの議員が出席した。

同総裁は、議連側に次の内容の要望書を提出した。①日本に帰化したウイグル人の親族や日本留学経験のある学者の生存確認、②ウイグル人強制労働に関係する製品の輸入禁止、③海外のウイグル難民の保護。古屋会長はこれらを政府に申し入れる考えを示し、また、ウイグルからの輸入を原則禁止する米国の「ウイグル強制労働防止法」の類似法案を議員立法として国会に提出するため議連にプロジェクトチームを立ち上げる意向を示した。



日本ウイグル国会議員連盟古屋圭司会長と面談

2025年2月18日、来日中の世界ウイグル会議前総裁ドルクン・イサ氏を伴い、日本ウイグル国会議員連盟の古屋圭司会長を表敬訪問した。ドルクン前総裁は古屋会長、石橋林太郎事務局長と懇談し、世界ウイグル会議の活動、現在のウイグル情勢などの意見交換をおこなった。

また8月29日にも、日本ウイグル国会議員連盟の古屋会長と弊協会のアフメット会長が面談し、今後の活動の見通しなどについて意見交換を行った。

併せて、岐阜県でおこなう講演会、パネル展、街宣活動などの打ち合わせも行った。



国会でウイグル強制労働調査報告書の発表記者会見

5月16日、国会の衆議院第一議員会館の会議室において、ウイグル強制労働調査報告書の発表記者会見を行った。

報告書は、日本企業35社、日本進出の中国企業6社の計41社のうち、34社が直接間接を問わずウイグル強制労働に関与していることを明らかにした。

この報告書は、日本ウイグル協会と国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ（HRN）が共同で作成したもので、会見にはHRNの伊藤和子副理事長、同アドバイザーの阿古智子東京大学教授も同席し、国やビジネス界がウイグル人権問題により真剣に向き合うことを訴えた。

また、日本ウイグル議連からも、古屋圭司会長、高市早苗副会長、石橋林太郎事務局長をはじめ多くの議員が同席し、古屋会長、高市副会長などから挨拶を頂戴した。

多くのメディア関係者、大使館関係者も出席し、複数のメディアがこの記者会見について報じた。



ドイツ開催の第3回民族サミットで発信

2025年5月22～27日にわたってドイツ・ミュンヘンで開催された第3回東トルキスタン民族サミットに弊協会の田中サウト副会長が参加し、「東南アジアおよび太平洋地域における中国の威圧」というテーマで同地域の現状を報告した。同会議には駐独米大使をはじめ国連やEUの代表や英国、カナダ、トルコの国会議員も参加し、幅広い議論が行われた。

また、サウト副会長は世界ウイグル会議執行委員会の会議にも出席し、同会議の中国委員会委員長としてこれまでの活動実績と今後の活動計画を報告した。



ウイグルを応援する全国地方議員の会との懇談

11月11日、ウイグルを応援する全国地方議員の会と懇談し、来日中の世界ウイグル会議のトゥルグンジャン総裁とドルクン前総裁もこれに加わり、意見交換を行った。

同総裁からは、現在のウイグルの状況についての報告があり、全国地方議員の会の丸山治章会長（逗子市議）からは、日本国内でのウイグル問題をめぐる諸課題が報告された。これに対し

同総裁は、他の国も日本と同じような課題を抱えており、参考になるところはあると応じた。



日本ウイグル協会総会を開催

6月14日、定款の規定により年次総会を開催し、前年度の活動・会計報告、本年度の活動方針・予算案などが承認された。また、日本ウイグル国会議員連盟の石橋事務局長のビデオメッセージの後、三ッ林裕巳前事務局長とウイグルを応援する全国地方議員の会の丸山会長からもご挨拶をいただいた。



オンライン講演「ウイグル弾圧に立ち向かう日本の声」

2025年7月25日、現在も続く中国による深刻な人権弾圧、ウイグル人に対するジェノサイドの実態をより広く社会に伝え、共に考えるためにオンライン講演会「ウイグル弾圧に立ち向かう日本の声」を開催した。

講師には、次のお二人をお招きした。

長年にわたりウイグル・ジェノサイドを批判し、支援活動の最前線で声を

上げ続けてきた、日本ウイグル協会前事務局長であり政治評論家の三浦小太郎氏。

ウイグル人女性たちの証言をもとにした漫画『私の身に起きたこと』『命がけの証言』を描くことで、日本のみならず世界中にウイグル人弾圧の現実を伝え、多くの読者の心を動かしてきた漫画家の清水ともみ氏。



中国による「国境を越えた弾圧」シンポジウム

8月24日、東京都文京区で「中国による『国境を越えた弾圧』の実態と課題」と題しシンポジウムを開催した。

一橋大学大学院の市原麻衣子教授、国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ・プログラムオフィサーの笠井哲平氏がそれぞれ講演を行った後、オルホノド・ダイチン南モンゴルクリルタイ常任副会長、ツェリン・ドルジェStudents for Tibet Japan代表、アリック・リーLady Liberty香港代表理事、レテプ・アフメット弊協会会長がパネルディスカッションを行った。モ

デレーターは一橋大学大学院博士後期課程の児玉千佳子氏が務めた。また、アムネスティ・インターナショナル日本の井出慶太郎氏からご挨拶いただいた。

本シンポジウムでは、中国政府による「国境を越えた弾圧」の実態と影響を法や人権の視点から多角的に検証し、国際社会及び日本が対応しなければならない課題を明らかにした。本シンポジウムの内容は報告書（日・英）にまとめ、国内外の政治家、研究者、人権団体等と共有した。



「新疆ウイグル自治区」成立70年でシンポジウム

2025年9月30日、日本ウイグル国会議員連盟と共催で衆議院第一議員会館国際会議室にて、シンポジウム「有名無実の『新疆ウイグル自治区』成立70周年—中国の民族政策を問う」を開催した。

冒頭、日本ウイグル議連の古屋圭司会長があいさつし、その後、法政大学の熊倉潤教授、西日本新聞の坂本信博記者、弊協会の田中サウト副会長がそれぞれ講演を行った。

中国の民族政策を歴史と現在の視点から検証し、中共の多民族国家統治の構造的矛盾や不当性を明らかにした。



ウイグル知識人への弾圧に関するシンポジウム

11月8日、東京都文京区において、シンポジウム「日本が育てたウイグル知識人に何が起きたのか」を開催した。

東京理科大学で博士号を取得し、帰国後は新疆大学の学長まで務めたタシポラット・ティップ教授は、2017年5月、突如拘束され消息不明となり、後に死刑判決を受けた。

教授の弟で、自身も日本留学経験を持つヌーリ・ティップ氏、弊協会のレテプ・アフメット会長が講演を行い、タシポラット教授と共同研究を行った経験のある高村弘毅立正大学元学長がビデオメッセージを寄せた。来日中の世界ウイグル会議のトゥルグンジャン総裁とドルクン前総裁も挨拶し、支援を訴えた。



タイのウイグル難民問題でオンライン・シンポジウム

2025年2月24日、「タイで無期限収容と強制送還を強いられるウイグル人の現状」をテーマにオンライン・シンポジウムを開催した。

講師は日本経済大学の井本勝幸特命教授が務めた。井本氏は、長年にわたり国際支援の最前線で活動し、ソマリアやタイ・カンボジア国境で難民支援を行った経験を持つ国際協力の専門家。

現在は日本ミャンマー未来会議代表

を務めるなど、東南アジアの持続可能な発展に尽力している。



ミヒライさん死去から5年 オンライン・シンポジウム

日本から一時帰国し強制収容所で死亡したウイグル人女性ミヒライ・エリキンさんの死から12月5日で5年が経過。9日、オンライン・シンポジウム「日本留学から一時帰国したウイグル人女性の命を奪った強制収容政策の実態と現在」を開催した。ミヒライさんの叔父でノルウェー在住の作家アブドゥエリ・アユブ氏、アムネスティ・インターナショナル日本の井出慶太郎氏、弊協会アフメット会長が登壇した。



東トルキスタン独立記念日集会

11月12日、東トルキスタン独立記念日に集会を開催し、記念日を祝うと共に、結束を固め、今後も活動を継続していくことを改めて誓った。世界ウイグル会議のトゥルグンジャン総裁とドルクン前総裁も参加し、協会メンバーと交流した。



日本ウイグル議連の協力で講演会を開催

2025年8月30日、日本ウイグル国会議員連盟の古屋圭司会長の呼びかけで、岐阜県恵那市において講演会を開催し、弊会のアフメット会長が約100名の前でウイグル問題を訴えた。国会議員2名、地元の市町村長5名、地元の地方議員60名が参加し、ウイグル問題への理解を深め、今後のご支援を約束していただいた。



Campaign for Uyghursセミナー日本開催に協力

1月18～19日の2日間、米人権団体 Campaign for Uyghurs のセミナーが都内で開催され、弊協会もこれに協力した。セミナーには、中国当局によって身柄を拘束されているウイグル人経済学者イリハム・トフティ教授の娘ジュハル氏も講演した。



台湾の国会議員連盟の会議に参加

2月25日、台北市において台湾のウイグル国会議員連盟である「台灣維吾爾國會連線」の会議に参加し、意見交換を行った。



チベット台湾人権ネットワークのイベントに参加

2月26日、台北市において台湾チベット協会が主催する、チベット台湾人権ネットワークのイベントに参加し、台湾の人々にウイグル人権問題を訴えた。



タイでウイグル難民救出活動

2025年1月19～20日、タイ政府が国際法を無視して10年以上も収監し、中国への強制送還の危機が迫っている48名のウイグル難民を助けるべく、タイで救出活動を行った。彼らは2014年に中国当局の迫害を逃れて脱出した、子供や女性を含む数百人のウイグル人難民の一部で、これまでバンコクの施設に収容されていたが、タイ政府が近いうちに中国に強制送還するとの観測ができていた。今回、世界ウイグル会議のアッバス執行委員長と共に、タイ政府が強制送還を行わない

よう関係各所に働きかけた。しかし、残念ながら2月28日、40名が中国に強制送還された。日本ウイグル協会は非難声明を公表した。



世界モンゴル人連盟シンポジウムで発信

3月15日、世界モンゴル人連盟が主催する国際シンポジウム「モンゴルとウイグルの歴史、現在」に参加した。弊協会のサウト副会長がウイグルの現状、モンゴルや日本との長い交流の歴史について講演した。



「ウイグルと香港の悲劇から日本の未来を占う」講演会で発信

5月31日、さいたま市において中朝人権問題糾弾会埼玉が主催する講演会「ウイグルと香港の悲劇から日本の未来を占う」に弊協会のサウト副会長が参加し、ウイグル人権問題について講演した。



天安門事件記念集会で発信

6月3日、衆議院第一議員会館において行われた天安門事件記念集会上に、弊協会のサウト副会長が参加し、ウイグル人権問題の解決を訴えた。



六四天安門事件36周年集会で発信

2025年6月3日、東京都文京区で開催された六四天安門事件36周年集会「天安門虐殺を忘れるな!!」に参加し、弊協会のアフメット会長がウイグル人権弾圧の現状を報告し、弾圧を受けている人々の連帯を訴えた。



チベット国際会議で発信

6月4日、衆議院第一議員会館国際会議室で開催された「第9回チベットに関する世界国会議員会議」に参加し、弊協会のアフメット会長がウイグル人権弾圧の現状を報告し、連携を世界に訴えた。



中国人民共和国建国記念日抗議集会で発信

9月28日、東京都新宿区で開催された「中華人民共和国建国76周年抗議集会」に参加し、弊協会のサウト副会長がウイグル人権弾圧の歴史と現在について報告した。集会には中国から弾圧を受ける民族グループが多数参加した。



中国建国76周年抗議デモに参加

9月28日、東京都港区の中国大使館まで開催された「中華人民共和国建国76周年抗議デモ」に参加し、中国政府が行う人権弾圧に対して抗議し、弾圧をやめるよう要求した。



「内モンゴル人民党設立100周年」国際会議に参加

2025年10月1日、参議院議員会館で開催された「内モンゴル人民党設立100周年」国際会議に、弊協会のサウト副会長が参加し、ウイグル人権弾圧の現状について報告した。今後も南モンゴルとウイグルは協力していくことを確認した。



南モンゴル国際フォーラムに参加

10月9日、衆議院第一議員会館において開催された「南モンゴル自由・独立運動の歴史と展望」に弊協会のサウト副会長が参加し、南モンゴルとウイグルの歴史的関係性の深さについて講演した。



台湾チベットフォーラム「雪域論壇2025」に参加

11月15日、台湾ダライラマ・ハウスが主催するフォーラム「雪域論壇2025」に弊協会のサウト副会長が参加し、3つのパネルに登壇してウイグル人権問題について発信した。台湾、チベットとの連携を深めることができた。



世界人権デー「ピースマーチ2025」に参加

12月7日、東京都渋谷区で行われた世界人権デーピースマーチ2025「独裁国家と戦い、自由・人権を勝ち取ろう」に参加し、人権弾圧を受けている様々な民族グループとの連帯を深めた。中国大使館前でも抗議の声を上げた。



タイ王国大使館前で抗議

2025年1月17日、東京都品川区にあるタイ王国大使館前で抗議活動を行った。タイで不当に拘束されているウイグル難民たちが近く強制送還される見込みであることが判明したため。来日中の世界ウイグル会議のアッバス執行委員長が抗議文をポストに投函した。



グルジャ虐殺追悼デモ

2月2日、新宿区で「グルジャ虐殺28年追悼デモ行進」を実施。1997年2月5日、ウイグルの伝統文化を守ろうとしたグルジャの若者達が、中国当局によって武力鎮圧され、多くの犠牲者を出した。犠牲者を悼み、抗議した。



王毅中国外相来日にあわせ抗議デモ

3月22日、東京都港区の中国大使館前と外務省飯倉公館の前で、来日中の王毅中国外相に対して抗議デモを行った。中国当局の弾圧を受けている他の民族のグループと合同で行い、抗議の声を上げた。



ウルムチ虐殺追悼デモ

7月5日、新宿区で「ウルムチ虐殺16年追悼デモ行進」を実施。中国に抗議した。2009年7月5日、ウルムチでウイグル人が行った平和的なデモが中国当局により武力で鎮圧され、多くの犠牲者を出した。犠牲者を悼むと共に中国政府に説明を求めた。



大阪の中国総領事館前で抗議

12月20日、大阪の中国総領事館前で抗議デモを行った。2021年12月9日、英国のウイグル民衆法廷は、中国がウイグル人にジェノサイド及び人道に対する罪を行ったことを認定した。その「ウイグル人ジェノサイド認定の日」にあわせ、中国に抗議した。



ご協力いただいた方々に心より感謝を。

○2025.9 東京都文京区



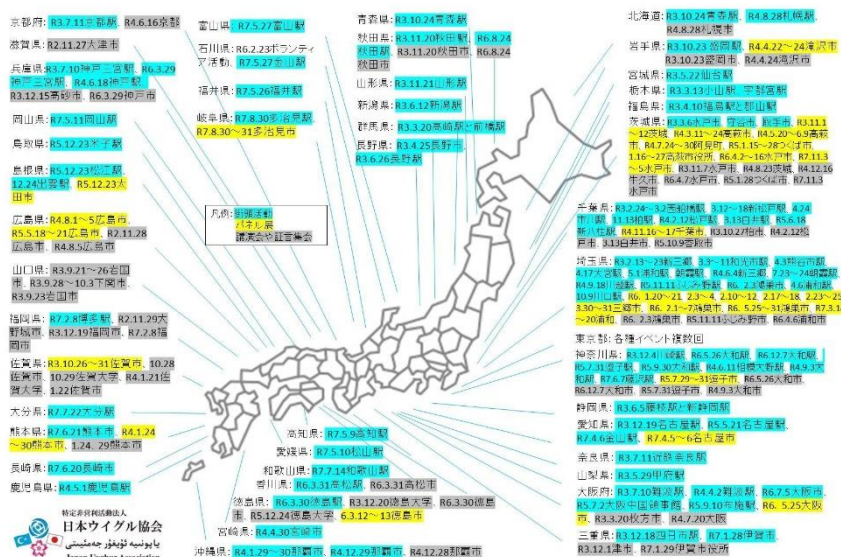
○2025.11 茨城県水戸市



弊協会は日本全国47の各都道府県で少なくとも一度は街宣活動やパネル展、映画上映会などを開催するという目標を立て、2020年から各地を回り、活動を行ってきた。そして、2025年8月、ついにその目標を達成した。各地でご協力くださった多くの方々に心より感謝申し上げます。

全国活動一覽 (2020～2025)

和歌山県
岡山県
愛媛県
高知県
福岡県
長崎県
熊本県
大分県
タイ
台湾
ドイツ



各地で証言集会を開催 ①

ご協力いただいた方々に心より感謝を

○2025.1 三重県伊賀市



○2025.6 学習院大学



○2025.2 福岡県福岡市



○2025.6 大分県大分市



○2025.2 & 6 APAグループで講演



○2025.6 早稲田大学



○2025.3 埼玉県さいたま市



○2025.8 岐阜県岐阜市



各地で証言集会を開催 ②

ご協力いただいた方々に心より感謝を

○2025.11 茨城県水戸市



○2025.5 徳島大学（オンライン）



○2025.11 千葉県香取市



○2025.6 熊本大学（オンライン）



○2025.12 神奈川県横浜市



○2025.6 大阪女学院大学（オンライン）



○2025.12 三重県伊賀市



各地で街宣活動を実施 ①

○2025.1 三重県伊賀市



○2025.5 高知県高知市



○2025.2 福岡県福岡市



○2025.5 愛媛県松山市



○2025.4 愛知県名古屋市



○2025.5 神奈川県藤沢市



○2025.4 福井県福井市



○2025.5 岡山県岡山市



○2025.4 石川県金沢市



○2025.6 長崎県長崎市



○2025.4 富山県富山市



各地で街宣活動を実施 ②

○2025.6 熊本県熊本市



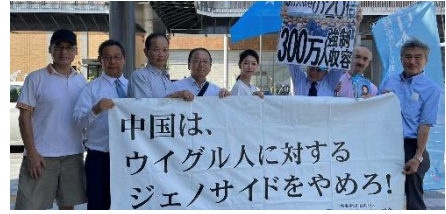
○2025.8 東京都千代田区



○2025.6 大分県大分市



○2025.8 岐阜県多治見市



○2025.7 和歌山県和歌山市



○2025.9 神奈川県藤沢市



○2025.7 大阪府大阪市



○2025.11 埼玉県さいたま市



○2025.7 大阪市万博会場



○2025.11 東京都中野区 (2回)



○2025.12 神奈川県横浜市



産経新聞・雑誌「正論」などに寄稿

弊協会のアフメット会長は2025年、精力的に産経新聞や月刊「正論」等にウイグル人権問題を訴える記事を寄稿した。掲載された記事は以下の通り。

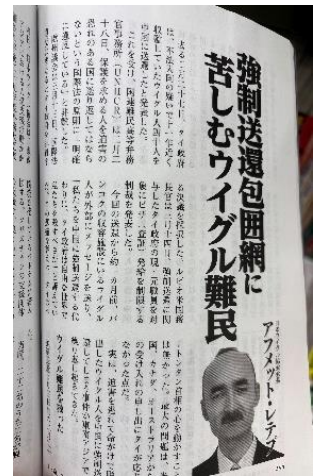
○産経新聞2025.03.23
「ウイグル人の命の見返り」



○産経新聞2025.09.22
「新政権こそ人権外交を」



○月刊「正論」5月号
「強制送還包囲網に苦しむウイグル難民」



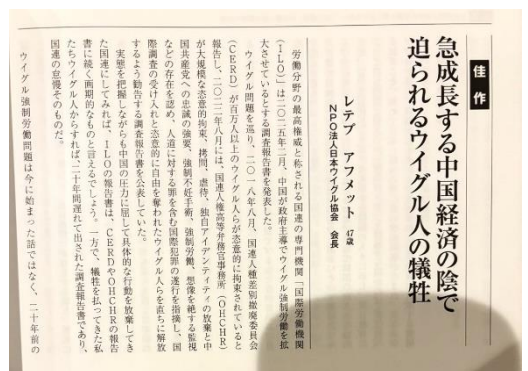
○月刊「正論」8月号
「中国発『強制労働』
日本企業30社の衝撃」



○月刊「正論」12月号
「自治区70年…ウイグル人悲劇の歴史」



○アパ日本再興財団懸賞論文「佳作」
「誇れる国、日本 XVIII」に掲載
「急成長する中国経済の陰で迫られるウイグル人の犠牲」



この他にも共同通信、NHK、日本経済新聞、時事通信、中日新聞、東洋経済、Zaiten誌、アジア新聞、NEWSポストセブン等多数のメディア対応を通じて、ウイグル問題を発信した。

チャンネル桜「ウイグルの声」に複数回出演

2025年、弊協会理事のムフタル・ブグラ氏と前事務局長の三浦小太郎氏が計9回（1/21、2/18、3/19、4/21、5/26、7/22、9/23、11/24、12/21）にわたり、日本文化チャンネル桜の番組「ウイグルの声～Uyghular Awazi」に出演し、ウイグルの置かれている状況について訴えた。



NHKに活動が紹介される

2025年2月12日、NHK World Newsがウイグル問題を報道し、弊協会の活動が詳しく報道された。弊協会のサウト副会長がインタビューに応じるなど、取材にも協力した。発信力のあるNHKが世界に向けて報道した意義は大きい。



三崎優太氏のYouTubeチャンネルに出演

12月7日、チャンネル登録者数117万人の三崎優太氏のYouTubeチャンネルが配信した動画に弊協会のアフメット会長が出演し、今ウイグルで何が行われているかを語った。動画は1ヵ月で55万回以上再生され、若い世代を中心に多くの人々に視聴された。



内部向け教育セミナーを開催

2025年、弊協会教育チームは在日ウイグル人を対象に4回にわたり、専門家を招きオンライン勉強会を開催した。各会の講師は以下の通り。

3/9 Erkin Ekrem

トルコ・ハジエテペ大学准教授

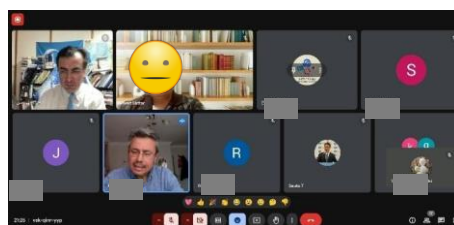
4/12 Adil Eruygun

トルコ・セルチュク大学社会学者

5/17 Abdurehim Devlet

トルコ・セルチュク大学歴史学者

12/6 Adil Eruygun



絵本『私の身に起きたこと』を学校に寄贈

2025年、二度にわたり、絵本『私の身に起きたこと』を学校に寄贈した。

一度目は9月に奈良県の県立高校31校に寄贈した。

二度目は11月に茨城県水戸市の市立小学校・中学校あわせて48校に寄贈した。

多くの生徒と保護者の方々にウイグルのことを知って頂きたい。



ミヒライ母語賞授賞式を開催

ミヒライ母語賞とは、日本留学中にウイグル語を在日ウイグル人の子供たちに教え、帰国後に収監され、死亡したミヒライ・エリキンさんの功績を記念し、ウイグル語教育に功績のあった人物を表彰するもので、2025年も彼女の誕生日の2月23日に授賞式を行った。



ウイグル支援者と感謝の集い2025を開催

12月19日、日頃からお世話になっている支援者の皆様に感謝の気持ちを伝えるため、文化交流と忘年会を兼ねて「ウイグル支援者と感謝の集い2025」を東京都内で開催した。80名近い方々がお越しくださり、共にウイグル料理と民族音楽・舞踊を楽しんだ。また、今後の連携・協力を確認し合うこともできた。



日本ウイグル協会活動一覧（2025.1～12）

No	日付	活動内容
1	1/15	タイによるウイグル難民強制送還問題で声明発表
2	1/17	タイ王国大使館前で抗議
3	1/17	米ウイグル人権団体セミナーの日本開催に協力
4	1/19-20	タイでウイグル難民救援活動を実施
5	1/21	日本ウイグル国会議員連盟総会に参加
6	1/24	某国大使館の新年会で交流
7	1/26	国際人権団体アムネスティ・インターナショナル日本と面会
8	1/28	三重県伊賀市で講演
9	1/29	三重県伊賀市で街宣活動
10	2/2	東京都新宿区でグルジャ虐殺追悼デモ
11	2/5	米研究者と面会
12	2/8	福岡市で証言集会を開催
13	2/8	博多駅前で街頭活動
14	2/13	国際人権団体関係者と面会
15	2/18	日本ウイグル国会議員連盟を表敬訪問
16	2/20	APAグループ東京会場で講演
17	2/23	ミヒライ母語賞授賞式を開催
18	2/24-27	台湾訪問 ①国際会議RightsCon2025で発信 ②台湾国会で国会議員と面会 ③台湾ウイグル国会議員連盟と面会 ④チベット台湾人権ネットワーク主催イベントで発信 ⑤米国在台湾協会(AIT)と面会
19	2/24	タイのウイグル人難民についてシンポジウム(オンライン)
20	2/28	タイによるウイグル難民強制送還で声明を発表
21	3/8	国際女性デー街頭集会で発信
22	3/9	チベット・ピースマーチに参加
23	3/9	内部向け教育セミナーを実施
24	3/13	某国大使館を訪問
25	3/14-20	ウイグルパネル展＆人権映画上映会inさいたまを開催
26	3/15	世界モンゴル人連盟シンポジウムで発信
27	3/16	中朝人権問題を糾す会埼玉主催講演会でウイグル問題を紹介
28	3/22	中国外相来日抗議デモ(飯倉会館前と中国大使館前)
29	3/31	会報第29号発行
30	4/5-6	名古屋市でウイグルパネル展＆人権映画上映会を開催
31	4/6	名古屋市金山駅前で街宣活動
32	4/12	内部向け教育セミナーを実施
33	4/26	福井駅前で街宣活動
34	4/27	金沢駅前、富山駅前で街宣活動
35	5/9	高知駅前で街宣活動
36	5/10	松山市駅前で街宣活動
37	5/11	岡山駅前で街宣活動
38	5/12	徳島大学学生にオンライン講演
39	5/16	国会でウイグル強制労働調査報告書発表記者会見
40	5/17	内部向け教育セミナーを実施

No	日付	活動内容
41	5/22-27	第3回東トルキスタン民族会議で発信(ドイツ)
42	5/31	中朝人権問題を糾す会で講演
43	6/3	天安門事件記念集会で発信(衆議院第一議員会館)
44	6/3	六四天安門事件36周年集会で発信(文京区民センター)
45	6/4	国会で開催されたチベット国際会議で講演
46	6/7	神奈川県藤沢駅前で街宣活動
47	6/9	人権報告書「忘却と抵抗の狭間で」を発表
48	6/12	ビジネスと人権リソースセンターウェビナーで講演
49	6/14	令和7年総会を開催
50	6/15	APAグループ金沢会場で講演
51	6/17	熊本大学法学部学生にオンライン講演
52	6/17	米国大使館を訪問
53	6/18	学習院大学で講演
54	6/20	長崎市で街宣活動
55	6/21	熊本市で街宣活動
56	6/22	大分駅前で街宣活動
57	6/22	大分市で講演会を開催
58	6/27	早稲田大学で講演
59	7/5	ウルムチ虐殺16周年で声明を発表
60	7/5	ウルムチ虐殺抗議デモを実施
61	7/8	大阪女学院大学の学生にオンライン講演
62	7/14	和歌山駅前で街宣活動
63	7/15-17	大阪南海なんば駅前で街宣活動
64	7/15-17	大阪市でパネル展を開催／関西万博会場で抗議パフォーマンス
65	7/22-8/3	台湾訪問及び人権団体と交流
66	7/25	オンライン講演会を開催(講師:三浦小太郎氏、清水ともみ氏)
67	7/30	翻訳報告書3本を公表
68	8/15	東京都千代田区九段下で街宣活動
69	8/24	「国境を越えた弾圧」シンポジウムを学者や国際NGOの専門家を招いて開催
70	8/29	日本ウイグル国会議員連盟と面会
71	8/30	岐阜県恵那市で講演会
72	8/30	岐阜県多治見市で街宣活動
73	8/30-31	岐阜県多治見市でパネル展を開催
74	8/30	岐阜市のモスクで講演会・パネル展を開催
75	9/9	奈良県の県立高校に絵本を寄贈(31校)
76	9/22	日本ウイグル国会議員連盟を訪問
77	9/23-24	東京都文京区でウイグルパネル展&人権映画上映会を開催
78	9/26	台湾政治大学の教授と面会
79	9/27	神奈川県藤沢駅前、辻堂駅前で街宣活動(2か所同時)
80	9/28	中華人民共和国建国76周年 抗議デモ／抗議集会で発信
81	9/30	国会で「ウイグル自治区成立70周年」シンポジウムを学者とジャーナリストを招き開催
82	9/30	自由民主党総裁選候補者へのアンケート結果公表
83	10/1	「内モンゴル人民党設立100周年」国際会議で発信
84	10/2	「国境を越えた弾圧」シンポジウムレポートを公開
85	10/5	自由民主党の高市総裁選出を歓迎する声明発表

No	日付	活動内容
86	10/9	「南モンゴル自由・独立運動の歴史と展望」国際フォーラムで発信
87	10/18	東洋文化研究会で講演
88	10/21	ウイグルを支援する政治家と面会
89	11/1	さいたま市浦和駅前で街宣活動
90	11/3-5	水戸市でパネル展を開催
91	11/3	水戸市で講演会を開催
92	11/7	日本ミャンマー未来会議関係者と面会
93	11/8	「日本が育てたウイグル知識人に何が起きたのか」シンポジウムを開催(文京区)
94	11/9	ウイグル研究者と面会
95	11/11	日本ウイグル国会議員連総会に参加、政府への請願書提出
96	11/11	ウイグルを応援する全国地方議員の会と会合
97	11/12	東トルキスタン独立記念日集会を開催
98	11/14-15	台湾ダライラマ・ハウス主催フォーラム(雪域論壇2025)で発信
99	11/19	高市首相の「存立危機事態」発言に対する過剰な中国の主張に対しての共同声明
100	11/20	米国大使館を訪問
101	11/22	東京都中野駅前で街宣活動
102	11/24	千葉県香取市で講演会を開催
103	11/27	水戸市の小中学校へ絵本寄贈(48校)
104	11/30	東京都中野駅前で街宣活動
105	12/6	横浜市桜木町駅前で街宣活動
106	12/6	横浜市中区で証言集会を開催
107	12/6	内部向け教育セミナーを実施
108	12/7	世界人権デーピースマーチ2025デモと集会に参加
109	12/8	ミャンマー未来会議主催の記者会見で発信
110	12/9	「ミヒライさん死亡から5年」オンライン・シンポジウムを開催
111	12/12	三重県伊賀市で講演会を開催
112	12/16	米国大使館訪問
113	12/19	ウイグル支援者と感謝の集い2025を開催
114	12/20	大阪の中国総領事館前で抗議デモ
115	取材	共同通信、NHK、日本経済新聞、時事通信、中日新聞、東洋経済、Zaiten誌、アジア新聞、NEWSポストセブン等
116	寄稿	産経新聞(複数回)、月刊正論(複数回)、世界ウイグル会議雑誌英語版(複数回)
117	出演	NHK、ネット番組(複数回)、チャンネル桜(複数回)等

編集後記

昨年一年を振り返ると、年初からタイで拘留されているウイグル人難民の中国への強制送還問題に動きがあり、我々の働きかけも空しく2月に40名が強制送還されてしまった。ただ、それまでの間、日本ウイグル国会議員連盟からの要請もあり、日本外務省がタイ政府に対して様々な働きかけを行ったことには感謝申し上げたい。

5月には、ウイグル強制労働調査報告書を国会内で発表し、「強制労働防止

法」の制定を訴えたが、その時、声を上げた政治家の一人が議連副会長の高市早苗氏だった。その後、10月に高市氏は総理大臣に就任した。

そして、11月のウイグル議連の総会で、古屋圭司会長は、議連に「強制労働防止法」を検討するプロジェクトチームの設置を表明した。

2026年こそ、日本がこの法律制定に向けて動き出す年となるよう、我々も努力を続けたい。

入会案内



日本ウイグル協会は、会員を募集しています。

私たちと共に、東トルキスタン問題の解決のために活動しようという意志がある方は、民族や思想信条を問わず、どなたでもご入会いただけます。

会員特典

会員の皆様には、会報「蒼空」を無料でお届けします。また、弊協会が主催します諸行事のご案内もお送りし、会員の皆様は優先的にこれにご参加いただけます。

入会方法

入会をご希望の方は、上記QRコードよりオンライン入会フォームにご記入ください。または、「氏名、住所、電話番号、メールアドレス、会員区分」を明記の上、メールまたはご郵送ください。会員区分や入会費・年会費の詳細は、上記QRコードよりウェブページをご参照ください。

メール : membership@uyghur-j.org

郵送先: 〒112-0004

東京都文京区後楽2-3-8

第六松屋ビル401号室

ご寄付のお願い

寄付は、私たちの活動にご賛同いただける方でしたら、どなたからでも受け付けております。金額につきましては特に定めてございませんので、ご無理のない範囲でお志を頂戴できれば幸いです。右の口座にお振込みください。

匿名でも構いませんが、領収書が必要な場合は、お振込み時のご名義を記載の上、メールでご連絡ください。

何卒ご支援くださいますようお願い申し上げます。

振込口座

ゆうちょ銀行

記号 10230 番号21164361
(ゆうちょ銀行から)

店番 028 番号2116436

(他行から)

オンライン決済

Syncable

<https://syncable.biz/associate/JUA/donate>



図書・映像紹介

～あなたの街にも置いて人権について考えてみませんか～



日本人になったウイグル人たちに中国がやっていること
～ウイグル系日本人・在日ウイグル人の証言～
三浦小太郎・日本ウイグル協会
産経新出版社 定価1,760円

在日ウイグル人34人の家族の被害状況や、安全なはずの日本にいらながらも彼らに迫る国境を越えた迫害の実態を証言集としてまとめました。あなたの街の図書館にも置きませんか。

私の身に起きたこと
～とあるウイグル人女性の証言～
清水ともみ
季節社 定価1,320円

この強制収容所生還者の体験をもとにウイグルジェノサイドを分かりやすく描いた絵本を、日本ウイグル協会はこれまで650以上の小中学校の図書館に寄贈してきました。あなたの街の学校にも置きませんか。



自由と人権を求める人々の叫び ウイグル編
～私たちに問いかけること～
東映株式会社教育映像部/日本ウイグル協会 制作

ウイグル人に対する人権弾圧を描いたこの人権教育映像は、「映文連アワード2023 優秀企画賞」と「令和5年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞」を受賞した作品です。あなたの街の自治体や企業も教材として採用しませんか。



Tel : 03-5615-9597 Mail : info@uyghur-j.org
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第六松屋ビル401号室